



No.399 令和5年11月29日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬 安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所

大田工連青年部×六郷工科高等学校 4年ぶりマッチングセッションOTA開催



説明に聞き入る六郷工科高等学校の生徒たち

大田工業連合会青年部連絡協議会と六郷工科高等学校、大田区、大田区産業振興協会は9月5日、大田区産業プラザPiO4階コンベンションホールで、「マッチングセッションOTA2023」を開催した。同イベントは、大田区のモノづくり企業がブースを並べ、そこに六郷工科高等学校の生徒たちが訪問。両者の交流により、学生の学びや就職支援を目指すものだ。2019年に第一回目が開かれたが、以後はコロナ禍によって中止が続き、4年ぶりの二回目となった。イベントの開催にあたり六郷工科高等学校の千葉政英副校長は「1社でも多くブースを訪問して下さい。地元の企業を学び、自分の将来を考えるきっかけにしてほしい」と生徒たちに呼びかけた。青年部の奥山隆行副委員長(日新電気社長)は「マッチングセッションOTAによるこそ。中小企業経営者の生の声を聞いてインターンシップなどに役立ててほしい。盛り上がり上げていきましょう」とあいさつした。

出展したのはアクスモールディング(株)、(株)伊和起ゲージ、(株)上田製作所、(有)内山研磨工業所、大森精密工業(株)、(株)菊和製作所、(有)岸本工業、(株)極東精機製作所、(株)昭和製作所、(株)泰信製作所、大成工業(株)、(株)辰美製作所、(有)東蒲機器製作所、トキワ精機(株)、新妻精機(株)、日新電気(株)、(株)松浦製作所、(株)松尾工業所、(株)マックス、ムソー工業(株)の20社。

各社は、高校生が事業内容を理解でき楽しめるようブース展示を工夫していた。大成工業の千葉三喜社長は、自動調整弁を分解しながら構造を分かりやすく説明。「採用につながるというより、学生にモノづくりを好きになってもらえるよう心がけた」(千葉社長)。

松浦製作所の松浦貴之社長は精密加工したサンプルを並べ「当社の仕事は一品モノが多く、毎日違う仕事をしています。飽きっぽい人に向いている仕事です」とアピールした。どのブースも人だかりができ、説明する社長たちも熱が入った。イベントについてデザイン科の生徒は、「デザイン的な仕事もあり菊和製作所のブースが面白かった」とコメント。東蒲機器製作所のブースを訪れたオートモービル科の生徒は「旋盤の加工精度がすごい。高校の授業でやるのとレベルが違う」と唸った。「普段目にしないモノづくりの仕事を身近に感じさせてくれるイベントで、ありがたかった」と感想を述べる生徒もいた。



奥山副委員長



千葉副校長



鉄板で作る焼きそばは迫力満点

絶好の秋晴れのなか、OTAふれあいフェスタが11月4日、5日、開催された。見上げれば視界いっぱい広がる青空。最高気温26度という、夏模様のもと、大田工業連合会青年部連絡協議会も出店し、焼きそばやビールを販売。イベントのオープニングセレモニーで鈴木晶雅区長は、「OTAふれあいフェスタは大田区が誇る文化である。多くの区民が訪れ、交流することを期待する」とあいさつした。

同イベントは、京浜急行平和島駅から徒歩15分にある「大森ふるさと公園」の3カ所で開催した。「平和島公園」の3カ所で開催した。青年部が出展したのは、平和の森公園「緑のエリア」。青年部の企業が総出で、焼きそばや生ビール、釜揚げうどんにチョコバナナ、かき氷にフランクフルトなどを販売した。どのブースにも多くの来場者が訪れたが、焼きそばやかき氷

OTAふれあいフェスタ 青年部ブース盛況

の人氣が高く、品切れになる場面も見られた。

同ブースを訪れた子供は「焼きそばとチョコバナナが美味しかった。チョコバナナの上にコアラのマーチが乗っているのが良かった」と笑顔を見せた。

青年部ブース以外では、海老釣りや輪投げなどのアトラクションが盛り上がった。訪れた多くの区民にとって、楽しい秋の思い出となった。

令和5年度 優良従業員表彰受賞者

10月30日(月)開催の当会正副会長会において左記5名の方の受賞が決定しました。おめでとうございます。

- | | |
|-------|-------------------------|
| 小池 武恒 | 株式会社小池製作所
蒲田工業協会 |
| 小池 静子 | 株式会社小池製作所
蒲田工業協会 |
| 小池 英二 | 株式会社小池製作所
蒲田工業協会 |
| 飛田 征寛 | 株式会社三桂製作所
蒲田工業協会 |
| 福井 貴治 | トキワ精機株式会社
(二社)大森工場協会 |

令和5年度 大田区団体役員功労受賞者

当会より2名の役員の方の受賞が決定しました。おめでとうございます。

- | | |
|-------|--------------------|
| 広瀬 安宏 | 会長
(二社)大田工業連合会 |
| 望月 直人 | 副会長
(二社)大田工業連合会 |



モノづくりの現場で求められる人物像について語る社長たち

大田工業連合会青年部連絡協議会と東京都立城南職業能力開発センター大田校は10月13日、同校多目的室で中小企業経営者と同校生徒による交流会を開催した。ものづくりエンジニア科、3D・CAD・CAM科、デジタルクラフト科の生徒、合計41人が参加。モノ

大田工連青年部、城南職業能力開発センター大田校の生徒と交流

づくりの現場で必要とされる人物像について、経営者の生の声を聞いた。

工連青年部からの出席者は、（有）川内商工社長の福元雅治委員長、日新電気（株）の奥山隆行社長、（株）極東精機製作所の鈴木亮介社長、ムソー工業（株）の尾針徹治社長、（有）柳井熔接工業所の柳井宏和専務、新妻精機（株）の高木政勝統括部長。

会の冒頭、都立城南職業能力開発センター大田校の中村陽文統括課長代理は「本日は大田工連に所属する経営者の方々に来て頂きまして。皆さんの就職につながる話をひとつでも聞かせて頂けたらと思います」と生徒に呼びかけた。

交流会は各社の自己紹介からスタート。福元委員長は「機械工具、工作機械の商社」奥山社長は「ロット一個からの樹脂の切削加工」、鈴木社長は「金属の切削加工メインで、美顔器も開発・販売」、尾針社長は「材料の特性を調べる試験片の受託加工」、柳井専務は「溶接とロウ付けの仕事」、高木統括部長は「試作専門の精密部品加工」と述べた。

モノづくりの現場で求められる人物像について、というテーマに沿い各者は持論を展開。「少人数の会社なので連携が重要。うちの会社には馴染める人に来てほしい」（奥山社長）「探究心が大事。先入観にとらわれず挑戦する人材を評価しています」（鈴木社長）

「飽きっぽい性格の人。当社の仕事は一品モノが多く、やることは毎日違う。新しい仕事に新鮮味を感じてくれる人です」（尾針社長）「当社は自動車関係なので、同じ仕事が多い。溶接は技術者の腕が頼りなので、同じ仕事を続けつつ少しずつ腕を磨く人を求めています」（柳井専務）

「難しい仕事に直面した時に、すぐ諦めてしまふのではなく、どうしたらできるかと前向きに考える人。パズルを組み立てるように、製造工程を考える人はありがたいです」（高木統括部長）

日々モノづくりを学んでいる城南職業能力開発センターの生徒でも、中小企業経営者の本音を聞ける場面は多くない。若き経営者と未来の職人の交流は、各社・各人の発展のため貴重な機会となった。

サイバーセキュリティ最新データ 〈〈〈そのサポート窓口は、ホンモノですか？〉〉〉

近年「サポート詐欺」と呼ばれるサイバー攻撃が増加しています。警察庁発表の被害件数は、今年上半年で前年同期比25%以上増えています。サポート詐欺は、名前の通りサイバー攻撃というよりも詐欺に近い手口となっているため、どのようなストーリーで詐欺が行われるか理解することが、被害にあわないための近道です。

インターネットを見ているとき、突然「あなたのパソコンがウイルスに感染しました！」という警告画面が表示されます。これがサポート詐欺の始まりです。警告には「ウイルスに感染しているので、修理のためにすぐに電話をかけてください」と、マイクロソフト等を騙る電話番号が表示されます。この電話番号に電話をかけてしまうと、「修理するので修理費用としてお金を支払ってください」や、「調査するのでこのツールをダウンロードしてインストールしてください」などと、言葉巧みに詐欺をはたらこうとします。もちろん実際はウイルスに感染しているわけではないので、修理費用を支払っても騙し取られるだけです。しかもインストールを勧められるツールこそがウイルスになっているため、ツールをインストールしてしまうと、情報漏洩やデータ破壊等の被害が発生する恐れがあります。

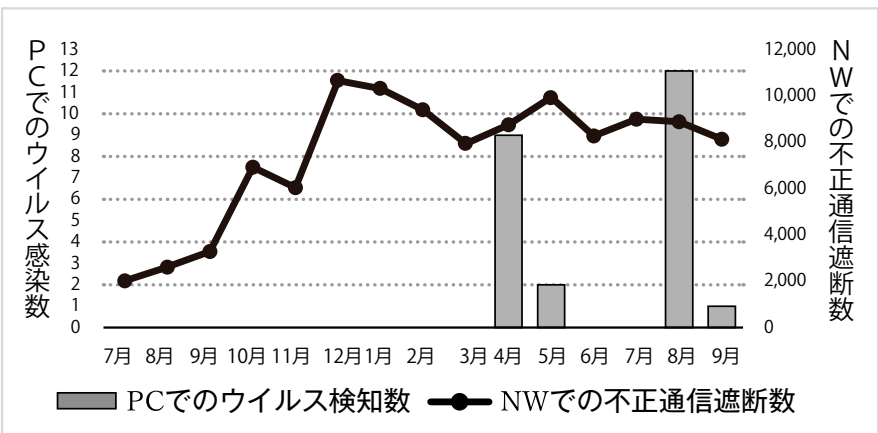
サポート詐欺にあわないために、まずは「サポート詐欺」が存在することを従業員に周知し、急に出てくるウイルス感染の警告画面の電話番号には電話をかけないように徹底させてください。また、警告画面が表示される等ウイルス感染が疑われる場合、社内に連絡先や担当者を決めておき、いざというときに頼ることができる先を作っておくことも大切です。なお、偽の警告画面については、Webブラウザを閉じたり、パソコンを再起動したりすることで消すことが可能ですので、慌てずに対応しましょう。

「当会会員企業におけるサイバー攻撃状況」

会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況をご報告いたします。不正通信数は、昨年末から1万件弱と高い水準を維持しており、実際にここ半年はご利用のパソコン上へのウイルス着弾を検知しています。

今回ご紹介した「サポート詐欺」についても、セキュリティ対策をきちんとしておくことで、サポートツールと偽ったウイルスをダウンロードさせられる際にブロックしたり、ウイルスインストール時に検知したりと、従業員のITリテラシーに依存しない多層的なセキュリティ強化を実現可能となりますので、対策の一つとしてご検討ください。

サイバー攻撃件数の推移



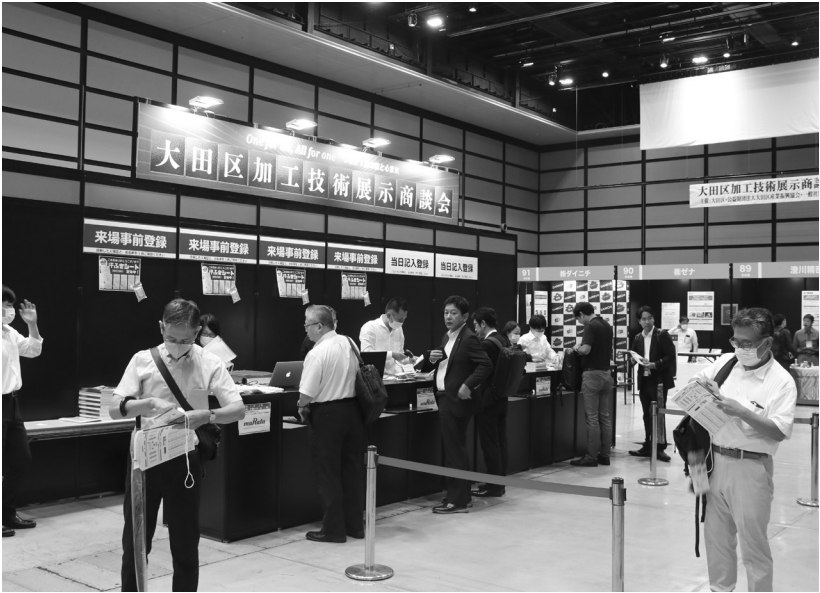
ワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します

大田区では、令和6年1月19日(金)午前10時から大田区役所本庁舎にて、企業向けワーク・ライフ・バランスセミナーを開催します。

区内で活躍されている社会保険労務士を講師にお迎えして、『治療と仕事の両立支援セミナー～治療を受けながら仕事を続ける従業員のために会社ができること～』をテーマに、就労に不安を感じる従業員が安心して働くことができ、企業が人材を失わずに済むヒントなどについてお話しできます。

申込方法や参加方法などは、区のホームページやチラシなどでお知らせしていきます。ぜひご参加ください。

大田区 総務部 人権・男女平等推進課
電話 03-5744-1610



会場風景



来場者を出迎える磐梯工業ブース

嵐の中で輝く、大田区の技術―。

大田工業連合会（以下、当会）と大田区、大田区産業振興協会が主催する大田区加工技術展示商談会2023「One for all, All for one」が9月8日、大田区産業プラザP i O 1階大展示ホールで開催された。昨年は大田区産業プラザP i O の1階大展示ホールが耐震工事を行っており、会場を東京都立六郷工科高校の体育館に変更した為、2年ぶりのホーム開催だ。当日は台風が接近するあいにくの天気だったが、812名が参加した。

当会関連企業から26社、全体103社（団体）が出展した。日新電気（株）はSDGsの取り組みとして端材を有効活用したマウスパットや、レーザー加工機で彫刻したイニシャルキーホルダーをプレゼントし、来場者の注目を集めた。

（有）磐梯工業は試作品を並べ「金型とプレス、両方の技術を持ち、設計から加工まで一貫してできるのが強みです」とPRした。（株）弘機商会は新製品であるスピナシメ機を展示。軸がぶれて偏心する機構を使い、プレスカシメ機の8分の1の力でカシめることが可能。ワークに与える負荷も、電力消費量も少なくてすむ。説明員の酒井麻梨子さんは、「機械のサイズの小ささにびっくりされる来場者がいた。組み立て屋さんに向けてPRしたい」と語った。

特別講演は（株）村田製作所通信・センサ事業本部 I O T 事業推進部 m F L I P ソリューション企画開発課の郷間真治氏がつとめ、製造現場におけるI O T 化と改善につながるデータ活用事例、というテーマで講演した。

大田区加工技術展 嵐の中で、技術輝く

大田区より

インフルエンザ予防接種費用助成事業を実施しています！ ◎ お子様への助成

対象者 接種日現在、生後6か月以上15歳（中学校3年生相当）以下の大田区民

【助成回数】

(1) 生後6か月歳以上13歳未満 2回まで **(2) 13歳以上15歳（中学生3年生相当）以下1回まで**

接種1回につき1,000円の費用が助成されます。

※予診票兼助成申請書は、区内実施医療機関に備え付けてあります。

◎ 65歳以上の方等への助成

対象者 **(1) 接種日現在、65歳以上の大田区民**
(2) 接種日現在、60歳以上65歳未満で、法令で定められている方

【助成回数】

1人あたり1回無料 ※対象となる方へ令和5年9月26日に予診票を発送しました。

詳細情報は大田区ホームページで
ご確認ください。右記の二次元コードから
アクセスできます。

小児インフルエンザ



高齢者インフルエンザ



問合先：大田区保健所感染症対策課
電 話：03-5744-1263
F A X：03-5744-1524

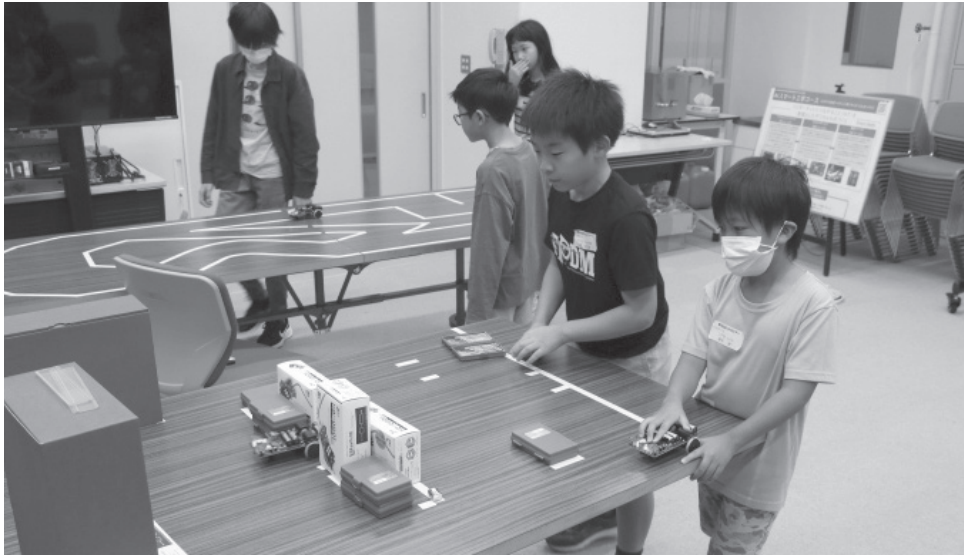
IoT基礎Lab.for Junior

秋のロボットセミナー in

都立産技高専 開催



先生の指導を受けつつ、ロボットを組み立てる



一所懸命、トライアンドエラー！

大田区と大田工業連合会は10月21日、東京都品川区の東京都立産業技術高等専門学校品川キャンパスで、「秋のロボットセミナー」を開催した。同イベントは、プログラミングカーの製作と専用ソフトの操作を通じ、プログラミングの基礎を学べるイベント。大田区在住在学の小学4年生から中学2年生までの子供たちが対象で、抽選で選ばれた20名が参加した。指導役は同校の浅川澄人先生、高専の5年生たちがサポーターを務めた。

会の冒頭、大田工業連合会の西川恭子事務局長があいさつ。「皆さんが住んでいる大田区はものづくりの町と言われています。今日、勉強していただくプログラミングはものづくりには欠かせないものです。このセミナーをきっかけに、将来、大田区のものづくりをさらに高めてくれる方がみなさんの中から生まれることを期待しています。」と述べた。

午前中、子供たちは自宅から持ってきた

工具を使いロボットカー「KOROBOLite（コロボライト）」を組み立てた。同キットは光センサーとモーターを2個搭載したコンパクトなロボット。コネクタの差し替えだけでセンサー位置を変更でき、障害物検出カー、床検出カー、ライントレースカーとして制御を楽しめるのが特徴だ。タイヤにシャフトを差し込むのがやや難しく、金槌を使うトントンという音が響いた。

ロボットカーができると、パレットIDEというソフトウェアを使い、ロボットカーのプログラミングに進んだ。障害物競走のようなコースが用意され、子供たちはプログラムとロボットカーの動作確認というトライアンドエラーを繰り返す。先生やサポーターの協力を得てセンサーの感度やモーターの回転スピードプログラミングを調整し、ロボットカーがうまく走るようになると、子供たちの顔には自信に満ちた笑顔が浮かんだ。



西川事務局長の話を聞く子供たち

やさしい図面の見方講座(2回目)

当講座では、日本工学院専門学校様のご協力をいただき、図面の役割、投影の方法各種記号など図面を見る上で基礎となる知識を習得します。

日時 令和6年2月13日(火)・14日(水)・15日(木)・19日(月)・20日(火)(全5日間)※講座時間はいずれも、午後6時30分～9時30分

対象者 金属加工業や機械工業等に従事し、図面に関する基礎的な知識の習得を必要とする方

※原則として大田区在住または在勤の方を対象とします。

会場 日本工学院専門学校 蒲田キャンパス 大田区西蒲田5-23-22 (JR蒲田駅西口より徒歩3分)

講師 日本工学院専門学校 岡崎先生 他

定員 30名(抽選制)

受講料 会員：5,000円・非会員：6,000円(いずれも教材費等込)

申込メ切 令和6年1月19日(金)

申込・問合せ先 ホームページよりお申し込みください ホームページ <https://ootakoren.com/>
FAXでの申込希望の方はホームページより申込書をダウンロード又はお問合せください

